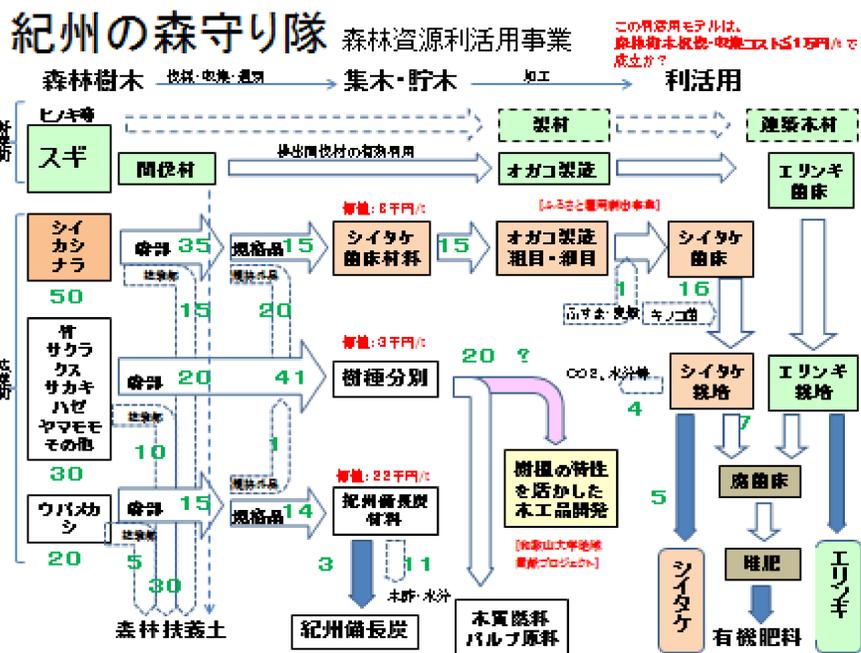


和歌山大学平成22年度独創的研究支援プロジェクト 「地域資源の有効活用」 — 印南町における循環型地域資源(広葉樹林)の活用と地域活性化の試み—

和歌山大学教育学部 池際博行, 赤松純子 和歌山大学地域創造支援機構 湯崎真梨子
株式会社石橋 石橋幸四郎, 印南町役場産業課 湯川和幸 カルフル・ド・ルポ印南 榎本真仁

1. 印南町の森林資源利用状況



2. きのこと生産

1. キノコ菌床栽培による森林保全及び廃菌床の堆肥化利活用

地域の森林資源の付加価値を高めるために、キノコ菌床材料用途等として新たに活用することにより、森林の整備を図り植物種の保護や災害防止・野生鳥獣害対策に寄与する。また、キノコ収穫後の廃菌床を有機農業用堆肥として再利用することにより、循環型社会の構築を目指す。



3. 地域資源利用開発

① 立ち木染め



スギ ランプシェード



立木染め杉トレイ

② 樹木チップの活用



ウッドチップ(サクラ、クス)



ウッドチッププール (いなみこども園)



ウッドチップ歩行支援具 (特養カルフル・ド・印南) チップ舗装(堺市)

③ 樹種の特性を活かした木工品の開発



カブラ(樹種クス)



木の玩具(樹種クス)



ウッドトレイ (樹種キリ)



4. 子供の遊び方(ウッドプール)

年齢別でみる遊び方(2~3歳児)



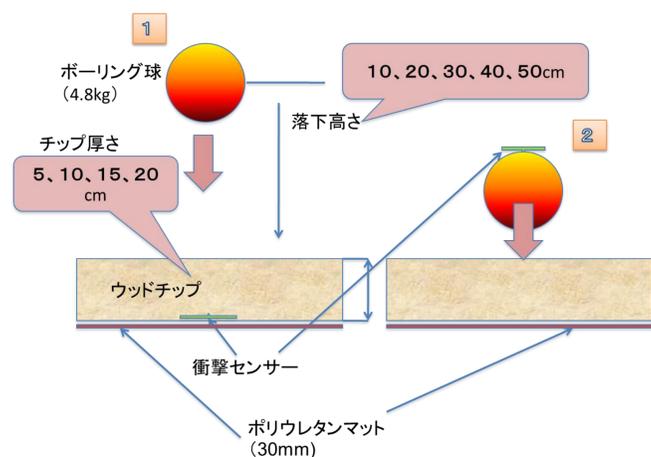
年齢別でみる遊び方(4歳児)



年齢別でみる遊び方(5歳児)



5. ウッドチップの衝撃緩和性能



ウッドチップによる衝撃緩和効果

